

事例8

< 事例概要 >

①70 歳代、虚血性心疾患、心房細動、脳梗塞、2 型糖尿病があり、下肢動脈閉塞に対し、緊急大腿切断術予定の外来患者。

②術前の血液検査。

③臨床検査技師は、医師へK 2.1 mmol/L のパニック値を報告した。医師は低カリウム血症の認識はしていたが、緊急手術の準備を優先し、カリウム補正やモニター装着のないまま下肢造影CT検査を実施した。造影剤注入 1 分後、呼名反応がなくなり、心電図モニターを装着すると心室性不整脈が出現していた。

④造影剤投与より約 1 時間半後（パニック値検出当日）に死亡。

⑤死因は、心室性不整脈。死亡時画像診断（Ai）有、解剖無。